



地域再発見

一宮町 末木地区

ウォーキングマップ



ルート一周：約 40 分

すえき

# 末木

一宮支所、図書館、一宮中学校に加え、桃の里ふれあい文化館・体育館・グラウンドもあり、町の中心地区である。

発行者：一宮町を考える会  
作成者：早川由希、小林咲季



## 1 長昌寺(ちょうしょうじ)

臨済宗妙心寺派の禅寺。本尊は聖観音菩薩。開山は仏徳大通禪師。開基は岩間大炊助で応永初期(1400年頃)の草創。寺宝の大般若経は市指定文化財。境内に心学者志村天目の墓と、忠婦福女の墓がある。



## 2 慈眼寺(じげんじ)

真言宗の古刹で、本尊は千手観音菩薩。甲斐百八霊場第三十八番。武田氏の祈願所として栄え、多くの寺宝を所蔵。本堂・鐘楼門・庫裏の3棟は江戸初期(360年前頃)の建立で、国の重要文化財。春には桜・桃の花・菜の花、秋には彼岸花が楽しめる。



## 3 道標(どうひょう)

旧御幸道(みゆきみち)の辻にたたずむ小さな石で造られた供養塔付きの道標。中央には「南無観世音菩薩」その左右に「左国分寺」、「右善光寺」と記されている珍しい道しるべ。



## 4 桃の先駆者顕彰碑(もものせんくしゃけんしょうひ)

加藤弘毅宅の入り口を入るとすぐ左側に建立してある。大きな石に「加藤重治翁顕彰之碑」とある。岡山から一宮町に桃を導入、以後日本一の桃の産地になった恩人として、その功績を讃えて建てられた。横には由来を記した副碑がある。



## 5 道祖神(どうそじん)

集落の辻に、ご神体丸石を祀った道祖神がある。毎年1月14日にどんど焼きがおこなわれている。地域の人々から、疫病を防除したり道中の安全をつかさどる神として、古くから信仰されている。



## 6 両ノ木八幡神社(りょうのきはちまんじんじゃ)

こんもりとした森の中にたたずむ社殿。祭神は誉田別命(ホムタワケノミコト)。境内に根の連なる神社呼称の2本の木(両木)が柵内に展示されている。朱塗りの美しい鳥居と社殿背後の大きな杉の古木は見ごたえがある。



## 7 味噌なめ地蔵(みそなめじぞう)

小さな祠(ほこら)の左右対面した六体の地蔵に守られて奥にあるのが味噌なめ地蔵。お地蔵さんの口に味噌をぬると願いごとをかなえてくれるという。



## 8 天神社(てんじんじゃ)

祭神は菅原道真(スガワラミチザネ)。「お天神さん」と呼ばれている小さな神社。無病息災、五穀豊穰、健全で賢い子供の育成等にご利益があると古くから信仰されてきた。境内に石造りの蚕影山と不動尊も祀られている。